

令和元年度 協力隊 OB と留学生が先生 ～見える・学べる・世界の国々～ 事業実施レポート

目次：

- (1) 国際理解って？
- (2) 帰国した青年海外協力隊
- (3) 小学校で
- (4) 中学校で
- (5) 事業実績
- (6) 先生方の声



(1) 国際理解って？

私たちの生活を振り返ると、海外との関係なしでは成り立たないことばかりです。食品や燃料はもちろん、衣類・家電製品など、それらの原料や労働力は世界の国々・人々に支えられています。また、鹿児島に住む外国人の方も増えています。外国の人々やその国の現状を知るとは、私たち自身を知ることでもあるのです。

国際理解とは、私たちの生活と世界がどのようにつながっているのかを知り、その中で世界が抱える課題を自分事として共有することではないでしょうか。

実際に外国で生活していた日本人の話や、鹿児島で生活している外国人の話を聞いて、一緒に世界のこと、日本のことを考えてみましょう。



協力隊 OB と留学生が先生 ～見える・学べる・世界の国々～



(2) 帰国した JICA 海外協力隊員

JICA 海外協力隊（青年海外協力隊・シニア海外協力隊）とは、開発途上国支援のため独立行政法人国際協力機構（JICA）が行っている派遣事業のひとつです。50 年以上の長い歴史があり、これまで世界 98 か国に 5 万人を超える隊員が世界各地で活動してきました。

鹿児島県出身の隊員も多く、2019 年 11 月 19 日現在 42 名が世界 27 カ国で活動しており、帰国した隊員は、900 名を超えました。

JICA 海外協力隊の主な目的の一つに、ボランティア経験の社会還元があります。帰国後はその経験を活かし、青年海外協力隊鹿児島県 OB 会の一員として、帰国報告会を実施したり、県内各地のイベントへ参加したりと、積極的に活動しています。



JICA 海外協力隊セミナー
@鹿児島大学



ブース出展
@吹上浜砂の祭典



国際協力パネル展
@イオンモール鹿児島



国際協力講演会&青年海外協力隊員報告会
@かごしま県民交流センター



協力隊 OB と留学生が先生 ～見える・学べる・世界の国々～



(3) 小学校で…

知らない国の、聞いたこともない嘘のような本当の話。

インターネットの普及で、今日ではより簡単に、世界中の様々な情報が得られるようになりました。しかし、多感な時期にある小学生にとって、教科書やテレビからの情報ではなく、直接、海外協力隊経験者の体験談を聞いたり、留学生と交流したりすることが与える影響は大きく、改めて身の回りの環境や世界に目を向けるきっかけとなるようです。

こういった出会いが、きっと新しい気付きや意欲的な学びへとつながるでしょう。

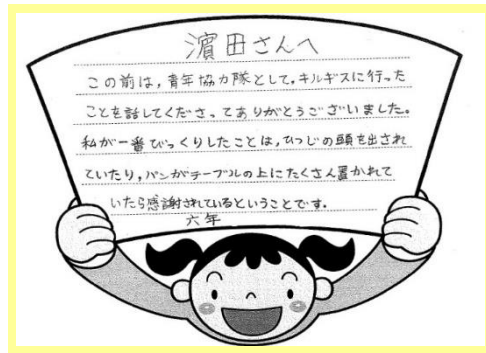


さしみ先生へ
ぼくはボリビアのことを聞いて、思ったことがズツあります。

一つ目は、牛物の煮り方です。日本ではかごで煮ているがボリビアではぶくろで煮ていたこと。ぼくは、太陽の光に当てたいのかを私思いました。二つ目は、台所の作りです。木のえだや草でかこまれていました。かこんでいる木や草は、火にくべると燃えるということを知りました。

日本とボリビアは、全然ちがうんだなと思いました。

伊城小四年



コストリカでの体験伝える
伊賀市立南永小 小4 住尾 小虎

「海外協力隊OBが先生」プロジェクトの一環として、伊賀市立南永小の4年生が、海外協力隊OBの経験者から、海外での生活や文化の違いについて学びました。授業では、OBが自身の体験談を語り、子どもたちは熱心に聴き、質問も交わっていました。



ブラジルや中国 生福小児童学ぶ
いちき串木野市 生福小学校 児童 海外協力隊OBが先生プロジェクトの一環として、児童が海外協力隊OBの経験者から、海外での生活や文化の違いについて学びました。

海外の生活などについて話を聞く児童
いちき串木野市の生福小学校



日本は平和だけど、戦争をしている国があることを知りました。もっと他の国のことも知りたくなりました。
生徒感想（一部抜粋）

「協力隊OBが先生」プロジェクト

永山俊介先生 伊賀市立南永小学校 3年
ありがとうございました！

ありがとうございます 上野陽子様
わたしは上野さんのお話を聞いて、今でもたくさんの方が苦しんでいる人だと思つて、すごく悲しくなりました。わたしは上野さんのように苦しんでいる人々を助け、世界の人が笑顔になれるようにしたいです。
令和元年11月5日 伊賀市立山野小学校
(6)年()月()日

外国の方との交流が大好き
四時間目に中国に二年間通っていた中国の永山先生が来ました。中国のことがよく知れることができました。中国にはたくさん面白いところがあります。中国語で色んなことを言うのがおもしろかったです。青色が大好きです。中国の国の言葉をまだまだ知りたいです。





協力隊 OB と留学生が先生 ～見える・学べる・世界の国々～



(4) 中学校で…

国際協力について、自ら考え、実行に移すこともできる年齢の中学生。

時には講話だけでなく、ワークショップを通して課題を見つけ、解決に向けて主体的に考える力を育成するための授業も実施しています。

そろそろ進路についても考え始める感受性豊かな年代の彼らにとって、海外協力隊経験者が歩んできた道や、故郷を離れ日本で生活する留学生の話は、異文化理解としてだけでなく、自分の生活や将来について見つめなおすきっかけとなるようです。



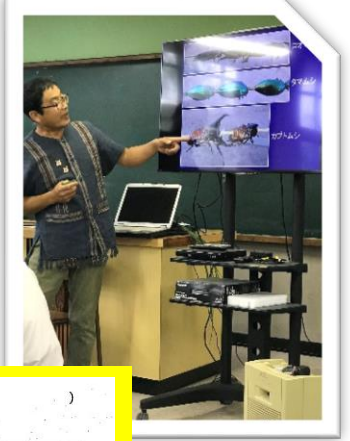
独、モロッコに興味津々

いちいち平田市立の平田東中学校で講演
ミヒヤエル・シレニさん、平田華代さん
と記念撮影する生徒ら
—いちいち平田市の生涯中学校

モロッコの気候は、日本と異なるが、乾燥した気候で、冬は寒い。夏は暑い。モロッコの料理は、タジンと呼ばれる鍋料理で、スパイスが効いた。モロッコの文化は、イスラム教の影響を受けている。モロッコの伝統音楽は、グナナと呼ばれる。モロッコの伝統舞踊は、シャミールと呼ばれる。

講演会「協力隊 OB と留学生が先生～見える・学べる・世界の国々～」
3年()番()

私は将来 国連事務官になりたいと思っています。今回の講演会はとても印象的でした。今日の話を聞いて、特に印象に残ったことは、子供たちが自分の夢のために、物を工夫して、何かをいかにして実現しているのか、という点です。私も、いかに環境を勉強して、何かを成し遂げるか、という点です。また、「経験は大切」という言葉も心に残りました。今日の講演会で、多くのことを学びました。ありがとうございました。



『協力隊 OB と留学生が先生』講話感想 3年 番 氏名 ()

ラオスと台湾について、詳しく知ることができました。ラオスの人たちは、日本と同じことをあつけない、田植えの時期は、学校が休みになることを知って、驚きました。みんなが助け合って協力して生きているんだと思います。台湾は、先物など日本に人気のものがたくさんあって、台湾に親近感が湧きました。違う国に行くのは、すごく緊張するけど、いろいろな言語が違ってても、みんなの助けがかりたいです。



「協力隊 OB と留学生が先生 ～見える・学べる・世界の国々～」の感想
2年 氏名

モロッコがアフリカの国、という事は知っていたけど、生活様式とかは全然知らなかった。ドイツの北と南で全然過ごし方が違うけど、日本より遥かに暑いところなどは知らなかった。モロッコのターバン？が、すごく可愛かった。タジンという料理は、塩辛いけどソースの味が、とても美味しかった。ミントティーは、かなりスッキリした。ドイツの高速が日本より20~30km/hも速いのと、干潮時に海(である場所)を歩けることに、びっくり。もっと色々な国について学んでいきたいと思った。



日本とアフリカの経済格差を知りました。この状況をなくすために、ユニセフ募金をするなど、まず自分たちにできることをしていこうと思いました。
生徒感想 (一部抜粋)

自分のことだけでなく、この世界のひとりとして、他の国のことについてももっと知りたいと思いました。
生徒感想 (一部抜粋)





協力隊 OB と留学生が先生 ～見える・学べる・世界の国々～



(5) 事業実績

敬称略

区分	市町村	学校名	講師	
			JICA OB/OG (派遣国)	在住外国人 (出身国)
鹿児島市 教育 委員会	鹿児島市	南方 小学校	上野 陽子 (バヌアツ)	サナプリア ティエゴ (パラグアイ)
		谷山北 中学校	サナプリア 智子 (パラグアイ)	オソリオ アウグスト (コロンビア)
		錫山 中学校	田中 久雄 (インドネシア)	ファン ヒョンムク (韓国)
		中洲 小学校	塚田 拓 (コスタリカ)	—
		喜入 中学校	山北 亜美 (マラウイ)	戴 若見 (中国)
		本名 小学校	田中 久雄 (インドネシア)	—
鹿児島 教育 事務所	いちき 串木野 市	生冠 中学校	平田 華代 (モロッコ)	ミハエル シレニ (ドイツ)
		荒川 小学校	桑山 昌洋 (ボツワナ)	グエン バントウ (ベトナム)
		生福 小学校	徳峰 みゆき (ブラジル)	周 向栄 (中国)
	十島村	悪石島 小中学校	桐野 智美 (ガーナ)	—
南薩 教育 事務所	枕崎市	立神 中学校	深澤 幸子 (ブルキナファソ)	—
		桜山 中学校	徳峰 みゆき (ブラジル)	—
		別府 中学校	塚田 拓 (コスタリカ)	—
北薩 教育 事務所	出水市	江内 中学校	近森 章 (ラオス)	黄 敬蓉 (台湾)
		出水 中学校	末原 貴子 (ニジェール)	—
	薩摩 川内市	中津 小学校	本田 隆一 (トンガ)	—
		さつま 町	流水 小学校	外西 朋子 (ネパール)
			山崎 小学校	濱田 孝子 (キルギス)
始良・伊佐 教育 事務所	霧島市	横川 小学校	竹野 愛 (タイ)	—
		竹子 小学校	近森 章 (ラオス)	—
	伊佐市	山野 小学校	上野 陽子 (バヌアツ)	—
		南永 小学校	永山 俊介 (中国)	—
	湧水町	吉松 中学校	外西 朋子 (ネパール)	チョウ メイリョウ (中国)

区分	市町村	学校名	講師	
			JICA OB/OG (派遣国)	在住外国人 (出身国)
大隅 教育 事務所	曾於市	大隅北 小学校	下松 裕和 (ブラジル)	—
		高岡 小学校	村上 俊祐 (ベトナム)	—
	肝付町	国見 中学校	瀬角 龍博 (ガーナ)	叢 瑋 (中国)
		東串良 町	東串良 中学校	仮屋 慶一 (モルディブ)
熊毛 教育 事務所	西之表 市	安城 小学校	渡邊 里美 (ポリビア)	—
	中種子 町	増田 小学校	日高 かおり (ザンビア)	—
大島 教育 事務所	奄美市	住用 小学校	佐久間 靖子 (コスタリカ)	—
		佐仁 小学校	アルカンタラ 有矢乃 (ドミニカ)	—
	大和村	大和 中学校	佐久間 靖子 (コスタリカ)	—
	天城町	天城 中学校	山北 亜美 (マラウイ)	—
	与論町	茶花 小学校	アルカンタラ 有矢乃 (ドミニカ)	シン ジョンヒ (韓国)
特別支援 学校	—	鹿児島 養護学校	田中 久雄 (インドネシア)	テッド ミラー (アメリカ)
私立 学校	—	三育 小学校	近森 章 (ラオス)	—

令和元年度実施：36校
(19市町村)



協力隊 OB と留学生が先生 ～見える・学べる・世界の国々～



(6) 先生方の声 (一部抜粋)

【先生方が抱えている問題など】

- ❖ 世界的規模で競争が激化し、種々の摩擦が生じている現状をどう学ばせていけるのか。
- ❖ 身近に外国について話ができる人がいない。
- ❖ 交通の便が悪く、県内各地で行われる国際交流イベントになかなか参加できない。
- ❖ 教師側が国際理解教育に関するスキルを高めていかなければならないと思う。
- ❖ 生徒たちにとって、アジアの国々やアフリカ、中近東などの地域は、何も知識がないようで、話を聞いても唾然とするばかりで実感が持てないのではと危惧している。
- ❖ 子供が調べたいと思った国についての資料が、手に入る場合とそうでない場合とがある。
- ❖ 生徒たちは自分のせまい日常だけに目を向けてしまうため、外に目を向ける機会を作っていきたい。

【授業を終えて…】

- ❖ 同じ離島出身の方が世界に目を向け、世界で活躍されたことに、子供も保護者も大きな衝撃を受けました。
- ❖ 日頃であうことのできない方と結ぶ良い事業である。生徒にとって、新しい世界を知る貴重な機会となった。
- ❖ ブラジルは、比較的子供たちにとって名前を聞いたことがある国だが、初めて知ることばかりで驚いていた。
- ❖ 講師から夢に向かって頑張ることの素晴らしさ、世界の人々と心がつながるとお互いに笑顔になることを教えてもらった。
- ❖ 日本との様々な違いを見聞きし、感性が揺さぶられる児童が多く見受けられた。多文化交流の醍醐味だった。
- ❖ 活動のゲームでは、ただ楽しむだけではなく、思考を巡らせる工夫がされていて、有意義だった。
- ❖ 質問に沢山答えて頂き、より理解を深められた。



実行委員会構成団体



鹿児島県青年海外協力隊を支援する会
<http://www.kagojocv.com/>



青年海外協力隊鹿児島県 OB 会



公益財団法人鹿児島県国際交流協会
<https://www.kiaweb.or.jp>

「協力隊 OB と留学生が先生～見える・学べる・世界の国々～」事業 実行委員会

〒892-0816

鹿児島市山下町 14 番 50 号かごしま県民交流センター1 階 公益財団法人鹿児島県国際交流協会内

電話❖ 099(221)6620 FAX❖ 099(221)6643 MAIL❖ kia@kiaweb.or.jp